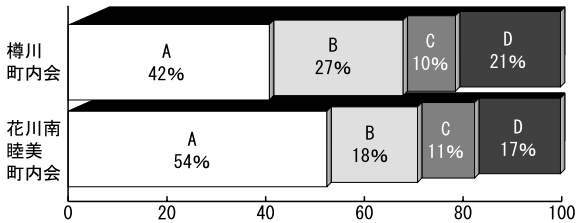


# アンケート紹介

今回、モデル町内会の方々にはアンケート調査にもご協力いただきました。その一部をご紹介します。

## 計画除雪を次の冬も続けた方がよろしいでしょうか (計画除雪)

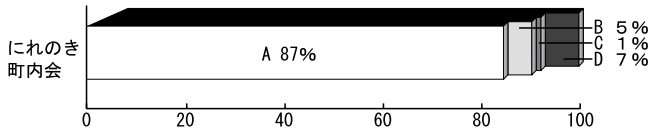
- A. 続けたほうが良い
- B. どちらでもない
- C. やめたほうが良い
- D. 他の方法を試したほうが良い



計画除雪では「やめたほうが良い」が10%前後に対し、約半数の方に「次回も続けたほうが良い」と評価を得ました。今後もさらに検討を重ね、より良いサービスを提供できるように皆さんと協議します。

## 計画排雪を次の冬も続けた方がよろしいでしょうか (計画排雪)

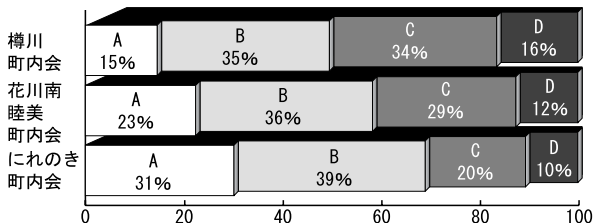
- A. 続けたほうが良い
- B. どちらでもない
- C. やめたほうが良い
- D. 他の方法を試したほうが良い



計画排雪での評価は非常に高く、「続けたほうが良い」が87%でした。

## 新雪除雪の除雪作業出動基準を今までの10cmから15cmに変更致しましたが車の走行及び歩くのに支障はありましたか (計画除雪)・(計画排雪)

- A. 支障なし
- B. どちらかといえば支障なし
- C. どちらかといえば支障あり
- D. 支障あり

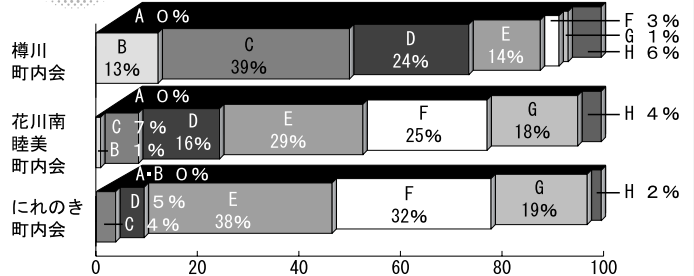


●にれのき・花川南睦美  
両町内会の約65%の方に「どちらかといえば支障がない」を含め、「支障がない」と回答いただきました。

●樽川  
「支障あり」と「支障なし」がちょうど半分の結果になりました。「まったく問題がない」とお答えいただいた方もいる中、こちらの地区は吹溜(ふきだま)が多く、それに対する苦情が大半を占めました。今後、地域の方と検討していきます。

## 年齢層

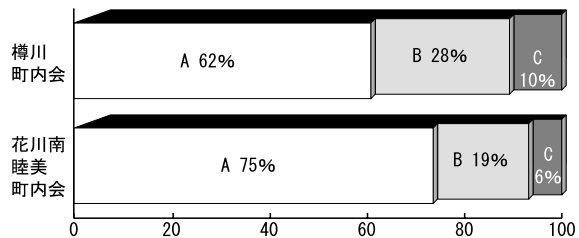
- A. 10代
- B. 20代
- C. 30代
- D. 40代
- E. 50代
- F. 60代
- G. 70代
- H. その他



樽川町内会では40歳代までが76%を占めているのに対し、花川南睦美町内会では50歳以上の年齢層が72%、にれのき町内会では89%と、高齢化の傾向にあります。

## 除雪作業には約6時間を必要としますがどの時間帯が望ましいですか (計画除雪)

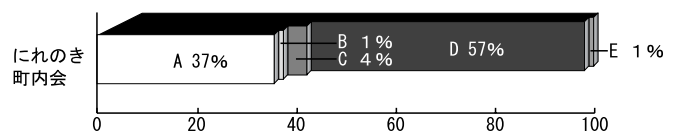
- A. 夜の12時から朝方6時までの間
- B. 朝9時から夕方5時までの間
- C. その他



どちらの町内会でも日中除雪より夜間除雪の割合が高く、グラフでは表示していませんが、車の保有台数が高いことなどから朝の出勤時までには除雪を希望される声が多く聞かれました。

## 排雪作業を、15日間隔で行いましたがどうでしたでしょうか (計画排雪)

- A. 15日間隔が望ましい
- B. 15日以上の間隔が望ましい
- C. 15日以内の間隔が望ましい
- D. 作業日間隔は降雪量で考えたほうが良い
- E. その他



今後、作業日間隔については地域住民の方や市民協議会との検討を進めます。



# 計画除雪・計画排雪

## ―モデル町内会(樽川・花川南睦美)にれのき)でのアンケート結果報告―

### ■雪対策市民協議会とは？

冬の暮らしを少しでも快適にするために、市民の皆さんと協力し合いながらより効果的・効率的な雪対策の方法を考えるため、市民主体の組織「雪対策市民協議会」を平成15年8月に発足しました。

会議を重ねる中で、皆さんからさまざまなアイデアや意見・提言が寄せられ、市ではそのうち次の2点について平成15年12月から取り組みました。

- ① 全ての町内会に聞いて、それぞれが抱える除雪の苦情個所や改善・要望個所の分析に努め、市民の希望に沿った除雪事業を展開
- ② 市民協議会からの提案に沿って従来の除雪方法を改め、除雪する曜日や排雪する日程を事前に決定する「計画除雪」「計画排雪」の実験モデル町内会を決め、新しい除雪システムを試行

### ■計画除雪って、なあくに？

市では、降雪量10cmを目安にその都度、新雪除雪を夜間行っています。

モデル地区では、降雪量の基準を15cmに引き上げ、新雪除雪の回数を減らします。その代わり、決まった曜日(週2回)の日中に間口処理をしなから除雪を行います。これにより夜間の騒音が減少し、モデル地区の方の安眠を妨げることがなくなります。

◎ 樽川・花川南睦美町内会で実施しました。

### ■計画排雪って、なあくに？

新雪除雪を行う基準を、降雪量10cmから15cmに引き上げ、新雪除雪の回数を減らします。代わりに、日中排雪作業を定期的に行い、路面の管理および道路幅の確保をします。除雪の回数は減りますが、定期的な排雪により除雪水準の向上と均一を図ります。



問 維持管理課 ☎72-3138  
ijikanri@city.ishikari.hokkaido.jp

◎にれのき町内会で実施しました。

### ■モデル地区で出勤基準が10cmから15cmになった経緯

平成15年12月から、モデル地区で行われた除雪の試みは、「除雪車の出勤基準を従来の降雪見込み10cmから15cmに変更しても生活には支障がないだろう」という第6回市民協議会ワークショップからの提案や、除雪の苦情の9割が「置き雪」であることを受けて実施しました。

除雪期間中の毎日の降雪量をデータ分析しますと、降雪量10cm以上と15cm以上での出勤回数では、15cmの方が20%以上減少になります。

1回の除雪作業で市内全域を除雪するのに約1500万円もの費用がかかりますが、出勤回数が減れば、その分の経費でほかのきめ細やかなサービスが行えます。

### ■アンケートの結果

年齢層の違いや車の保有台数、また地域の立地条件の違いなど、一概に今回のアンケート結果で決められるものではありませんが、おおむね計画排雪については評価が高く、特に高齢者からの「意見として「非常に助かった、今後ぜひ続けて欲しい」との声が多く寄せられました。今後は、「地域住民の方々が自ら労力や費用を出してもいいか?」、さらには「その費用の負担額はいくらが妥当か?」などのアンケート結果についても市民協議会と検討を行い、市長に対して本年9月をめどに第1次中間答申を行う予定です。

参加者を  
随時募集  
しています!!

### \*お知らせ\*

雪対策市民協議会は、市内に在住または通勤・通学する20歳以上の方で、石狩市の除排雪について興味や関心のある方なら、どなたでも応募できる自由参加型の協議会です。皆さんの建設的・積極的な意見をお待ちしています。問い合わせは維持管理課まで。